

## 協議会結果及び議事録

会議名称	令和7年度第3回 長崎市公共交通活性化協議会		
日時	R8/3/13(金)	場所	長崎市役所 5階 第1・第2委員会室
出席者	別紙名簿のとおり		
議題	(1)長崎市地域公共交通計画(案)について (2)その他		
結果	(1)長崎市地域公共交通計画(案)について ・計画 P62 の人流データとの比較部分については、事務局で修正案を作成し、神山委員と相談後に他の委員に確認することとする。 ・それ以外の箇所については、承認を得た。 (2)その他 ・事務局及び各交通事業者から近況報告がなされた。		
議題(1)	長崎市地域公共交通計画(案)について		
	委員からのご意見	事務局の回答	
	<p>長崎大学 神山委員</p> <p>・P62 について、人流データと IC データを比較して路線バスの利用度を出すのはおかしいのではないのか。</p> <p>・それぞれの割合を出すことは良いが、人流データよりも IC データの割合が大きいから路線バスの利用度が高いというロジックはおかしいと考える。</p>	<p>正しい表現となるよう修正案について、神山委員と協議させていただきたい。</p>	
議題(2)	その他		
	<p>事務局</p> <p>・本市の公共交通行政の取り組み状況として、共助型移動手段構築に向けた出前講座の実施状況や公共交通運転士確保等支援費補助金などの概要、若手担当者による意見交換会の実施状況を説明。 ※後日概要資料を各委員へ配布</p> <p>長崎県交通局</p> <p>・クレジットカードによるタッチ決済サービスを長崎空港線やながさき観光ルートバス(長崎バス単独)で3月23日から開始する。※ながさき観光ルートバスは4月4日から開始</p> <p>長崎電気軌道株</p> <p>・昨年10月からタッチ決済を導入し、利用割合は導入当初の約2.7%から4%に増加し、キャッシュレス化が進行している。</p> <p>・2月18日からダイヤ改正による減便を実施し、著しい乱れは生じていない。減便の要因となった運転士の確保については、令和8年度中に15名の採用を目指しているが、1人で営業運行をできるまでに約8ヶ月要するため、減便したダイヤを直ぐに戻すことは難しい。</p>		

#### 長崎市タクシー協会

・昨年3月に開始した日本版ライドシェアは、今年1月の第1週までの状況として稼働台数が305台、運行回数が837回となっていて、引き続き交通空白の解消に取り組んでいきたい。

#### 長崎自動車株

・1月31日から運転士不足を要因とした計画減便を実施している。昨年から運転体験会を毎月1回実施するなど採用の強化を行っているが、退職者数を補えない状況。  
・4月1日から春のダイヤ改正を実施するが、全路線で一定減便を余儀なくされる状況。

#### 長崎バスグループ労働組合

・全産業平均の半分程度の賃上げとなっており、乗務員も増えていかない。昨年4月から年間の休日数も87日から106日まで増やしているが、1日の拘束時間が長いため、若い人が集まらない状況。1月の補正で予算を確保してもらったことはありがたいが、他都市は補助金で運営している会社がほとんどであり、他都市と比較しながらもう少し予算を確保してほしい。

#### 事務局

・今後とも機会を捉えながら支援を行っていきたい。

#### JR九州長崎支社

・3月14日にダイヤ改正を行う。また、3月13日で往復乗車券を廃止する。  
・西九州新幹線は、平均で1日7,200人の利用があり、開業から順調に増えている。